

Let's enjoy English!

特集 Special edition

教科型英語の授業



学級担任とAEA(英語活動支援員)が協力し、授業が行われています。
最初の挨拶から、先生と児童それぞれ英語で始まり、授業の8～9割は英語で行われています。

単元 **When is your birthday ?**
目標 誕生日に欲しいものを探ね、バースデーカードを交換する。

[Warm up]
はじめの挨拶をする。
Hello, Mr. (Ms.) ~
How are you?



[Main activities]
いろいろな人に誕生日を聞いたり、欲しいものを探ねたりする。
A: When is your birthday ?
B: My birthday is December 24th.
A: What do you want for your birthday ?
B: I want a game.
A: Here you are.
B: Thank you.



取材した授業では、誕生日をテーマに様々な日常会話が先生と児童、児童間において英語で行われました。
特筆すべきは、教科書が机上になく対話方式の授業形態でした。

児童の感想

- 児童1 授業が楽しい。家でもたまに英語で会話している。
いろいろなところで、ためしてみたい。
- 児童2 授業を楽しみにしている。習った会話はその日に家で両親と会話している。

平成32年度から、小学校での英語教育が、教科として本格実施されます。
本市では、全国より2年前倒して平成30年度からの導入を目指しています。
これに伴い、平成27年度から、小学校3年生・4年生の“外国語活動”を舞鶴中学校区内の4小学校で先行実施し、さらに平成28年度から市内全校で年間35時間実施しています。
また、平成28年度に、“教科型英語”の教育計画を国分小学校を中心に作成し、本年度から舞鶴中学校区内の4小学校で教育計画を検証、教育課程への位置付けなどの作業を行い、5年生・6年生で年間70時間の授業を実施しています。
平成30年度には、市内全小学校の3年生・4年生について、“外国語活動”を継続実施するとともに、5年生・6年生は年間70時間とし、“教科型英語”の教育を実施する計画です。

○外国語活動

聞いたり話したりすることを中心としたコミュニケーション能力の素地を養う。
(話すことの楽しさを学び、日常的な会話を通して活きた言葉の習得)

○教科型英語

聞いたり話したりすることに加え、読んだり書いたりすることの態度の育成も含めたコミュニケーション能力の基礎を養う。
(上級学校への対応)

今後の取り組み

新規に指導要領に設定される教科のため、先行的に取り組んでいる学校では教職員の理解度は向上しているものの、本格的な教科型英語の実施に向けて、市内全域においてスキルアップのために各種研修会や、AEA (英語活動支援員) との授業計画の検討などに取り組んでいきます。

※ AEA (Assistant teacher of English Activities)

